

初代クルーズマスター松浦睦夫(ゆたか倶楽部創業者)が語る

# 続・ゆたか倶楽部物語



## ◆日本初のラグジュアリー船 「ガンツウ」乗船

3013トン、客室数19室の「ガンツウ」。「ガンツウ」とは尾道の方言で小さなイシガニのこと。「山椒は小粒でもピリリと辛い」、まさに乗船して理解しました。つねに木のぬくもりを感じ、瀬戸内海の穏やかな海、派手なショーやイベントはありません。船内では私も好きな時間を過ごすことが出来ました。19の客室中、14部屋あるテラススイートの

206号室を利用。中央のテラスと窓からの眺めが素晴らしく、シモンズ社の特注ベッドが居心地良く、ソファークーナーでもゆっくりくつろげます。お部屋のアメニティは「Aesop」。

メガネ拭きやメガネのボルト直し、ニコンの双眼鏡まであり、新聞の代わりにタブレットにて日本経済新聞の電子版に限り見られます。冷蔵庫の飲料も豊富です。パジャマのほか、デッキやダイニングにも着ていける浴衣、雪駄が用意されています。

ダイニングエリアは2名テーブルをメインに4名利用可の個室もあります。朝食は7〜10時、昼食は12時〜14時、夕食は17時30分〜20時30分、鮎カウントターの昼食、夕食も同時

間です。人気の鮎は予約制で、2泊3日のクルーズ中必ず一回は食べることができます。

206号室を利用。中央のテラスと窓からの眺めが素晴らしく、シモンズ社の特注ベッドが居心地良く、ソファークーナーでもゆっくりくつろげます。お部屋のアメニティは「Aesop」。

メガネ拭きやメガネのボルト直し、ニコンの双眼鏡まであり、新聞の代わりにタブレットにて日本経済新聞の電子版に限り見られます。冷蔵庫の飲料も豊富です。パジャマのほか、デッキやダイニングにも着ていける浴衣、雪駄が用意されています。



## ◆全てが素晴らしい 唯一無二のラグジュアリー船

カフェ&バー…バーカウントターは、日本らしい縁側で飲物、甘味類が楽しめます。ジム…クロスパーソナル、ランパリーナル、リクライニングパーソナル、ユニカが完備。レンタル用のウェアとシューズも用意しています。お申込みはレセプションまで。

浴場…総檜造りの香りが凄い。最後に位置しているため流れゆく景色に身をゆだねてゆったりお過ごしいただけます。もちろん、お部屋の浴室も二日目に薬湯にて入浴ください。

鮎…タイ、スズキ、マナガツオ(炙り)、オコゼ、ハモ、ケンサキイカ、アジ(ごまかけ)、タイラギの貝柱、ワタリガニ、車エビ(カニオボロ)、タコ(梅をのせる)、アワビ(のしアワビに肝付)、ヤキアナゴ、タマゴ14貫ウニメシ、お汁、醤油が無くワサビとガリ、スタチをたらすのが印象に残っています。

夕食…前菜を楽しんでいる間に料理長が運んでくれた数々の新鮮な食材はタイ、ヒラメなどはお刺身、天ぷら、塩焼きなど好きな調理方法で提供してくれれます。さらにヒレやロースが選べる和牛も欲張ってみてください。

朝食…和食、洋食が選べます。和食は魚の種類と調理方法を選択。洋食はハム、ベーコン、パンの種類が選べ、卵は

和食ならだし巻き卵や、洋食ならスクランブルエッグなど地元の採りたての新鮮野菜や果物も豊富。

朝食…和食と洋食から選べます。和食は穴子丼、天丼、海鮮ちらしやうどんなど。洋食はステーキ、ハンバーグ、オムライス、ハヤシライス、カレー、スパゲティなど素材と味は徹底的にこだわっています。

オールインクルーシブ…船内での食事、アルコールを含む飲み物、ミニバー、船外体験の全てが旅行代金に含まれています。ただし、一部のワイン、テージャール、ビール類やエステ・整体は有料です。

船内では『好きなものをお好きなだけ』がキャッチフレーズです。値段を気にすることなくお楽しみいただけます。

日本初のラグジュアリー船「ガンツウ」は、毎月運航し、一年に10〜11回位のゆたか倶楽部オリジナルツアーを実施しています。会員の皆様も是非一度乗船されることをお勧めします。

乗船コース  
2022年7月20日発  
「中央航路」大三島沖・鞆の浦錨泊3日間

